

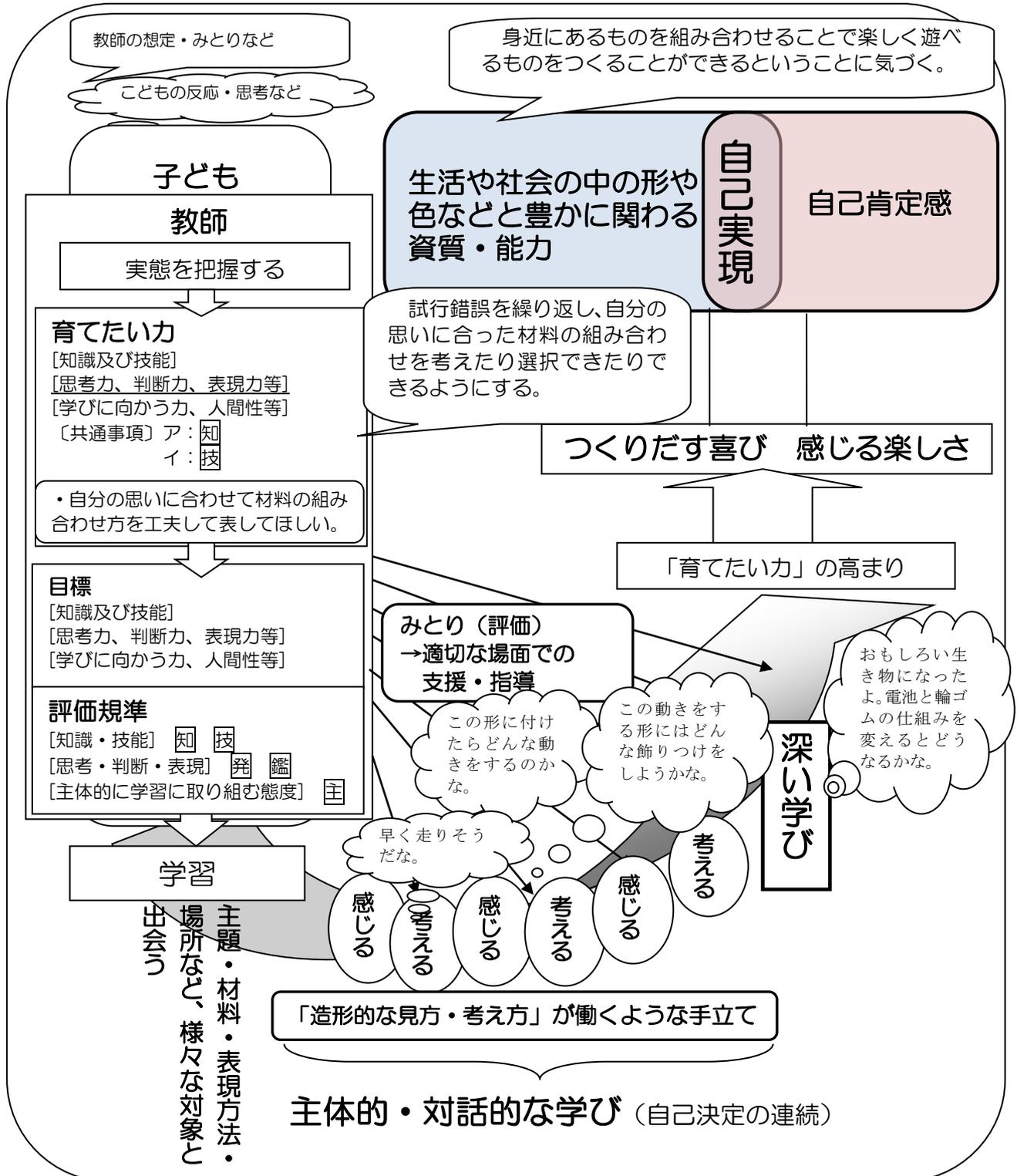
第3学年2組 図画工作科学学習指導案

指導者 川崎市立小倉小学校

大貫 章光

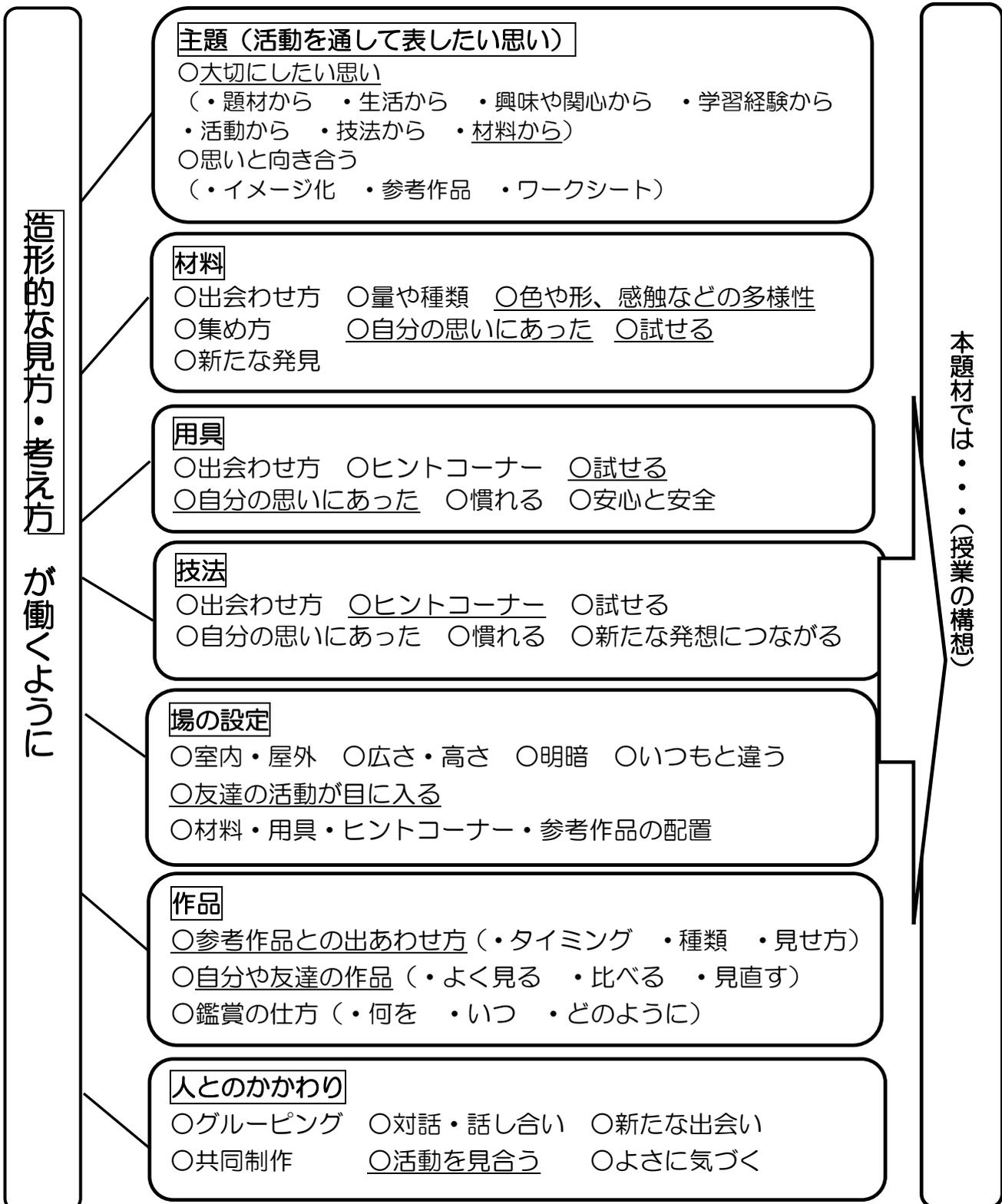
1. 題材名 「ふしぎな生き物が生まれたよ」 A表現 工作に表す活動 5時間扱い

2. 「つくりだす喜び 感じる楽しさ」につながる授業の構想



3. 「造形的な見方・考え方」が働くような手立て

- ・「造形的な見方・考え方」を働かせながら、主題・材料・技法と関わることができるようにするために・・・
- ・「造形的な見方・考え方」を働かせながら、作品をつくったりみたりできるようにするために・・・
- ・「造形的な見方・考え方」を身につけ、生活に活かせるようにするために・・・



4. 活動場所 図工室

5. 題材観

(Ⅰ) 子どもたちの実態

実験や外に出る活動など、手や体を動かして学ぶことが好きな児童が多い。新しい学習に期待感をもつ子非常に多い。手順や方法が分かるとどんどん自分で進めようとする。図工「まほうのとびらをあけると」では、カッターを初めて扱う子が多く、はじめは緊張していたが、使い方が分かると、直線、曲線を楽しみながら何度も練習する姿が見られた。友だちの切る様子を見て、面白い形だと思つて「やってみてみたい」と思い、取り組もうとする児童が多い。

大きさを変えたり、重さをかえたり、位置をかえながら何度も付けたり外したりする活動を通して、自分のイメージに合った作品をつくってほしい。また、飾りをつけて生き物にする場面でも、飾りをつけて動かし、自分のイメージに合わなければ装飾を変えるなど、「ためす」活動を通して自分の思い描くものをつくり、達成感を味わって欲しいと考える。

(Ⅱ) 題材と育てたい力

育てたい力：思考力、判断力、表現力

本題材では、電池と輪ゴムを用いた仕組みを使って、動くものをつくって遊ぶ。

まず、教師が製作した参考作品を見せる。どうやって動いているのかを考えながらつくってみたい意欲をもたせる。

電池と輪ゴムで仕組みをつくり、どんな動きになるのか試してみる。

自分だったらどんなものをつくろうか、や思ったように動かなかった時に、思うように動かすようにするのか動きに合わせて装飾を変えていくのか自分で判断して進められるようにしたい。

自分の思いに合わせて動かせるようにしたり装飾を考えて付けたりさせたい。

(Ⅲ) 造形的な見方・考え方が働くような手立て

～「つくりだす喜び 感じる楽しさ」につなげるために～

① 導入

教師が用意した参考作品を見ることで、なんだろう、どうなっているのだろう、さわってみたいという意欲を喚起させる。自分もつくって遊びたいなという気持ちにしたい。

② 動画

電池と輪ゴムを用いた仕組みづくりは、動画に撮っておくことで、必要な時にいつでも見直せるようにした。電池の大きさ、輪ゴムの量など、あえて動画に映っていないやり方をすることも考えられる。

③ 材料・用具について

使い終わった電池を集めておき、大きさごとに分けておく。いくつかつくってみて輪ゴムの引っ張り具合なども確かめながら自分のイメージに合った材料を選べるようにしたい。

④ グループでの活動

友だちの様子を見たり、困った時などに対話したりしながら活動ができるようにする。友だりと話す中で新しいアイデアや工夫を思いついたり友だちの作品のよさに気づいたりすることができる。と考える。

⑤ 形・色・動きの関わり

作品は2つ目をつくってもよいことを伝える。1つ目をつくった後に『動きにあったデコレーションであるか』を確認する。形・色・動きを意識させて、一つ目をさらに充実させたり、2つ目をつくったりするように声をかける。1つ目の続きで製作を行いたい場合は飾りを取ってもよいことを伝える。

(Ⅳ) 学年の目標

＜第3学年及び第4学年＞

| 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
|--|--|---|
| (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 | (2) 造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 | (3) 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。 |

(Ⅴ) 学年の内容及び共通事項

| | 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
|---------|--|---|---|
| A 表現 | (2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫して表すこと。(技能) | (1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるように指導する。 イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや用途などを考え、形や色、材料を生かしながら、どのように表すかについて考えること。(発想・構想) | 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。 |
| B 鑑賞 | | (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。(鑑賞) | |
| 共通事項 | 〔共通事項〕ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。(知識) | 〔共通事項〕イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。 | |

(Ⅵ) 題材の目標

(1) 知識及び技能に関する題材の目標

○自分の感覚や行為を通して、どのようにして動く仕組みなのか理解する。(知識)

○仕組みや動きに合わせて材料や用具を使い、工夫して表す。(技能)

(2) 思考力、判断力、表現力等に関する題材の目標

○活動を通して、感じたこと、創造したこと、見たことや用途などを考え、形や色、材料を生かしながら、どのように表すかについて考える。(発想や構想に関する資質・能力)

○自分たちの作品や製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。(鑑賞に関する資質・能力)

(3) 学びに向かう力、人間性等に関する題材の目標

○進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

6. 題材の評価規準 ～ 3つの観点から育てたい力を考える ～

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|--|
| <p>知 自分の感覚や行為を通して、どのようにして動く仕組みなのか理解している。</p> <p>技 仕組みや動きに合わせて材料や用具を使い、工夫して表している。</p> | <p>発 活動を通して、感じたこと、創造したこと、見たことや用途などを考え、形や色、材料を生かしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑 自分たちの作品や製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p> | <p>主 つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組もうとしている。</p> |

7. 準備

- [教師] 電池、輪ゴム、竹かご、ざるなどの軽い身近材、クリップ、プッシュボンド、モール
- [子ども] モール、ビーズなど、ハサミ、ボンド、セロハンテープ

8. 指導と評価計画（○時間扱い）

| | ◇子どもの活動 ・予想される子どもの反応 | ○教師のかかわり・手立て ◎造形的な見方・考え方が働くような手立て | 評価規準□と 評価方法（ ） |
|-----------------------|---|---|---|
| 1 次 4 5 分 | ◇どんな仕組みで動いているのか知る。 ・面白い動きだな。 ・どうやって動いているのかな ・動かしてみたいな | ○教師が用意した参考作品を見せる。 ◎なぜ動くのか考えさせたり実際に触ったりして、どうやって動いているか確かめさせることで題材への意欲を高める。 | |
| 動く仕組みをつくってみよう | | | |
| | ◇教師が手順を説明し、動画を見ながら仕組みをつくる。 ・輪ゴムをつける位置が難しいな ・早く動かしてみたいな。 ◇自分の好きな箱に仕組みをセットして動かしてみる。 ・面白い動きをするよ。 ・真っ直ぐ進まないぞ。 ・全く動かないよ。 ・反対に進んでしまう ◇様々な身近材から自分の好きな形を選び、どんな生き物をつくるか考える。 ◇仕組みと箱の組み合わせ方を試し、自分の思いにあったものを考える。 | ◎仕組みづくりの動画を事前に撮っておき、困ったら何度でも見て確認できるようにする。 ◎色々な仕組みをつくって試せるように大きさの違う電池、ビー玉を用意しておく。 ○様々な形の身近材を用意しておき試すことで、自分で動きと形を選択できるようにする。 ◎友だの活動の様子を見合ったり紹介したりする時間を設定し、次時の作品づくりに生かせるようにする。 ○動かなかったり思っている方向と反対に動いてしまったりする場合には、仕組みの取り付け方や巻き方を確認するように声をかける。 | □ つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組もうとしている。 (発言・つぶやき) 知 自分の感覚や行為を通して、どのようにして動く仕組みなのか理解している。 (活動・作品) |

| | | | |
|--------------------------------------|--|---|---|
| 2 次 1 3 5 分 本 時 | 仕組みを取り付けてふしぎな生き物をつくろう | | |
| | <p>◇接着の仕方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> •ホットボンドは簡単に飾りをつけることができるよ。 •モールはホットボンドを使わなくても結べばいいね。 <p>◇作品を動かしながら、表したい動きに合わせて、仕組みの取り付けをしたり、装飾の接着をしたりする。</p> | <p>○ホットボンドの使い方を示す。</p> <p>○結ぶ、接着するなど、材料に合った装飾の仕方を考えるように声をかける。</p> <p>◎グループで活動することにより、友だちの作品づくりの様子を見たり、対話をしたりして、作品のよさを見つけたり自分の作品づくりに生かしたりすることができるようにする。</p> <p>◎困った時には、グループの中で相談したりアドバイスをもらったりできるようにする。</p> <p>○必要に応じて、次の時間に電池や仕組みを取り付ける身辺材をもってきてよいことを伝える。</p> | <p>技 仕組みや動きに合わせて材料や用具を使い、工夫して表している。 (活動・ワークシート)</p> <p>発 活動を通して、感じたこと、創造したこと、見たことや用途などを考え、形や色、材料を生かしながら、どのように表すかについて考えている。 (発言・つぶやき・活動の様子・作品)</p> |
| ふしぎな生き物を動かしながら友だちと作品を楽しもう | | | |
| 3 次 4 5 分 | <p>◇グループで自分の作品について紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> •ガタガタ動くから針金をつけて面白い動きの生き物にしたよ。 •真っ直ぐ進むから角みたいに飾りをつけたよ。 •材料が網みたいだから絡ませて飾り付けをしたよ。 | <p>○作品を紹介する際には、生き物の名前や動き方など工夫についてプロフィールのように紹介する。</p> | <p>主 つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組もうとしている。 (発言・つぶやき)</p> |

| | | | |
|--|---|---|--|
| | <p>◇全体で、できた作品を見せ合い、遊んだり自分のつくった生き物の紹介をしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 同じ仕組みなのに動き方が違うね。 • 電池の大きさを変えると動きが変わるね。 • 同じ動きでも飾りつけてぜんぜん違う生き物になるね。 <p>◇友だちの作品のすてきなところや面白いと思ったところを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 動きと生き物の名前がぴったりで面白かったよ。 • 同じ材料でも飾りつけて動きが違って見えるね。 | <p>○遊びや紹介の中で、形、色や動き、材料などについて話している子どもを認め、クラス全体でたくさんの視点をもてるようにする。</p> | <p>鑑 自分たちの作品や製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 (様子・発言・ワークシート)</p> |
|--|---|---|--|

9. 本時の活動（3/5時間 45分）

（Ⅰ）本時の目標

○活動を通して、感じたこと、創造したこと、見たことや用途などを考え、形や色、材料を生かしながら、どのように表すかについて考える。（発想や構想に関する資質・能力）

（Ⅱ）本時の展開

| ◇子どもの活動 ・予想される子どもの反応 | ○教師のかかわり・手立て ◎造形的な見方・考え方が働くような手立て | 評価規準 <input type="checkbox"/> と評価方法 () |
|--|---|---|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 仕組みを取り付けてふしぎな生き物をつくろう </div> | | |
| <p>◇本時のめあてを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホットボンドはすぐくっついて便利だったな。 ・動いた時にくねくねする飾りをつけたいな。 <p>◇作品を動かしながら、表したい動きに合わせて、仕組みの取り付けをしたり、装飾の接着をしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この動きに合う飾りはなんだろうな。 ・もっと真っ直ぐ進むようにしたいな。 ・飾りをつけすぎると重くなって進む速さが遅くなるな。 ・重すぎて動かなくなったよ。 ・面白い動きだからカラフルにしたいな。 ・わたしは、全体的になるべく同じ色にしよう。 <p>◇片付けをする。</p> | <p>○前時に行った接着の仕方を確認して続きを行うように声をかける。</p> <p>○動きを見ながら自分の思いに合った装飾を考えるようにする。</p> <p>◎グループで活動することにより、友だちの作品づくりの様子を見たり、対話をしたりして、作品のよさを見つれたり自分の作品づくりに生かしたりすることができるようにする。</p> <p>◎困った時には、グループの中で相談したりアドバイスをもらったりできるようにする。</p> <p>○必要に応じて、次の時間に電池や仕組みを取り付ける周辺材をもってきてよいことを伝える。</p> <p>○片付けの仕方について伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モール等余った場合は、材料入れに戻す。 ・ホットボンドは冷めてから回収する。 | <p><input type="checkbox"/> 活動を通して、感じたこと、創造したこと、見たことや用途などを考え、形や色、材料を生かしながら、どのように表すかについて考えている。 （発言・つぶやき・活動の様子・作品）</p> <p><input type="checkbox"/> 仕組みや動きに合わせて材料や用具を使い、工夫して表している。 （活動・ワークシート）</p> |